

製品市場を追跡する

金属探傷劑

エアソール金属探傷器は、検査するか、乗物を運び、すなはち機械の有無を調べる非破壊検査の一翼を担う製品である。近年の同市場は、半導体不足や各自動車メーカーの認証不正問題に伴い、自動車、鉄鋼向けを中心としたもの、自動車向けに回復が見ただし昨年は、鉄鋼向けは引き続き低調だったものの、自動車向けが堅調で、生産量は前年比微増の300万台られたほか、電力プラント、航空機向けが堅調で、生産量は前年比微増の300万台缶強を確保したと観測される。

☆市場の沿革

エーソール金属探傷剤の草分け的商品は、1957年のマーク・チック（スーパーチエック）、日本油脂現タセド）「カラーチエック」と目される。ほかなく、太陽物産、米進化学が登場。電子磁気工業なども姿を見せ市場が形成された。その後はマーク・チック、日本油脂、米進化学の3社による寡占が進みながら市場は成長していった。市場規模を年間生産量（日本紙推定）で見ると、69年までは60、80万台で推移し比較的地味な展開が続いたが、70年以降は上昇気流に乗り73年には350万台まで成長していく。各種製造業における事故多発時代を経て、品質管理に対する意識が深く浸透。販路も原力や航空、造船業界へと拡大していく。76～80年は造船不況から、た。

業界は自動車七ト追越300万円を輸入する。電力プラントでは、定期点検を徹底して、市場の下支えをついている。また、昨年から、アルミニウム金属製鉄炉の開発が新たに進んでおり、これから、今後の支

マークテック、タセト追う 化学進歩

ら、生産量は例年大下回る300万缶弱(同20万缶)となつたが、21万缶は300万缶規模(同20缶)に復調(22年も350万缶と前同20~30万缶)と前年を確保した。23年は導体不足の影響から工働率が低下し、自動車鋼向けが不調で生産量万缶規模(同20~30万缶)へ減少、24年も各自動車メーカーの認證不正問題

題に伴い、数字を落とす。
しかし、昨年は国内新規販売台数が前年比3.3%増の30万台、日本自動車販売協会連合会によると、年並みで2年ぶりに増加に転じた。
一方で、鉄鋼向けは、延べ鍛造などの加工を経た前年の鋼である粗鋼の生産量が2001年9月30日現在、300万台に伴い、日本鉄鋼連盟調査が

スの蛍光漫透探傷剤
されるなど各種環境
方製品の開発市販に
てはいる。

光漫透探傷剤「ケイコード」、エック、磁粉探傷剤「ジキチエック」、磁粉探傷剤「ジキチエック」を開拓したこと、昨年には「ケイコード」から水ベースの「ジキ漫透探傷剤「ジキコード」」を拡充している。

昨年の生産量は100
缶前後と観測される。
栄進化学は、染色浸
透剤「レッドマーク」
力に、蛍光浸透探傷剤
オグロー」、低ハロゲ
ン低硫黄の「レッドマー
ク」「ペシャル」「ネオグ
ル」「ペシャル」、磁粉探
傷剤「グナトロン」、鉄道運

| | | |
|-------------|---------------------|-------------|
| 部リ | カルズ(ミクロチエック) | アライズ▼イチネンケミ |
| 透探 | ラミット、ダイゾー、(ビン | アライズ▼イチネンケミ |
| を王 | カラー)、420リットル、輸入品 | アライズ▼イチネンケミ |
| ネ | 420リットル、(スオクロー) | アライズ▼イチネンケミ |
| ・ | リミック、(ヘッドマークスベ | アライズ▼イチネンケミ |
| ン・ | シャル)、420リットル、(スオクロー | アライズ▼イチネンケミ |
| クス | ロースペシャル)、420リットル、 | アライズ▼イチネンケミ |
| ン・ | (マグナトロン)、420リットル、 | アライズ▼イチネンケミ |
| クス | (レールチエック)、420リットル、 | アライズ▼イチネンケミ |
| ・ | AWリアライズ、日本美容 | アライズ▼イチネンケミ |
| スズカフアイン(PU) | ルチ | アライズ▼イチネンケミ |

自動車業界向けが回復 低調続くも鉄鋼向けは

も前年比微増を確保する見込んでいる。エアゾル金属探傷剤も、その割

ると
透液1缶、現象液2缶、洗
剤
ノール
淨液3缶)で5000-7
000円、低ハロゲン・低

市販製品名
メーカーと

トや人件費の上昇はなお続
いており、当社の各顧客と
もコストダウンをより一層
重視している。当社では金

イズ、輸入品▼モノタロウ
(探傷スプレー) 420
横浜油脂工業(RTEC) 504
120 (ミリトル、
東邦金属。